1．設置

本機は以下の条件を満たす場所に設置してください。

○ 紙幣スロットに直射日光等の強い外光が入らない場所。
受光部に強い光が入ると機器が誤動作する場合があります。

○ スピーカーやモーター等の強い磁場の影響を受けない場所。
強い磁場によって、機器が誤動作する場合があります。

○ 紫外線ランプを直視できないような場所。
紫外線は目に有害です。

○ 水平で安定した操作し易い場所。
落下によって紫外線ランプが割れたり機器が損傷する場合があります。

2. 起動

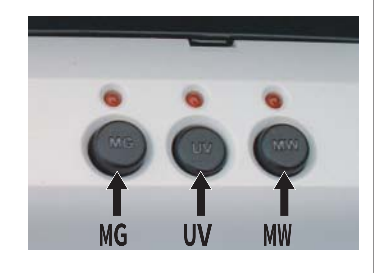
・電源接続
右図の DC-IN に付属のAC アダプタのDC 側コネクタを接続します。

・電源スイッチを入れます。



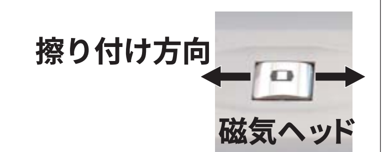
3. 紙幣チェック

本機は、紙幣の３種の特徴（すき入れ（透かし）、紫外線蛍光、磁気インク）をチェックすることができます。
また、紙幣スロットに紙幣と著しく異なる反射率の紙や異物等を入れるとアラームが鳴ります。



3．１ 磁気インクチェック

MG ボタンを押して、磁気ヘッドに紙幣の印刷色が濃い部分を左右方向に軽く擦り付けます。磁気インクを使用している紙幣では、本機右上の緑色の磁気チェックランプが点滅します。
旧札（1984年発行D券）、新札（2004年発行E券）どちらも磁気インクを使用していますので、この方法でチェックすることができます。



3．２ すき入れ（透かし）チェック

ＭＷ ボタンを押すとスロット内の白色プレートが点灯します。紙幣のすき入れ（透かし）部分をこの白色プレート上に乗せて、すき入れ（透かし）の有無をチェックします。
旧札（1984年発行D券 紙幣中央部のすき入れ肖像）、新札（2004年発行E券 紙幣中央部のすき入れ肖像画と右側肖像画の背景に縦線）どちらもこの方法でチェックすることができます。



3．３ 紫外線蛍光チェック

UV ボタンを押して紙幣をスロットに入れると紫外線ランプが点灯して紙幣の紫外線蛍光の有無をチェックすることができます（ランプ点灯まで１～２秒要します）。
新札（2004年発行E券）と二千円券（2000年発行D券）は紫外線で日銀総裁印部分がオレンジ色に光りますので、この方法でチェックすることができます。



4. 日本の紙幣について

日本円紙幣の特徴や詳細等については、国立印刷局が発行する資料や国立印刷局ホームページ（http://www.npb.go.jp/）をご参照ください。
（既出のD券、E券の名称は印刷局のホームページ上で表記されている名称です）

5. 海外の紙幣について

ユーロ、米ドル、韓国ウォン、台湾ドル、香港ドル、中国元、シンガポールドル、インドネシアルピー、フィリピンペソなどの各国紙幣についても、３種の方法のいずれか、または複数の方法でチェック可能です。各国紙幣の特徴や詳細については各国の政府機関にお問い合わせください。

6. 仕様

電源
DC12V（AC100～240V 対応AC アダプタ付属）

消費電力
紫外線ランプ点灯時：300 ｍA
白色LED点灯時：120 ｍA
磁気ヘッド使用時：35 ｍA

動作環境
温度：0～40℃
湿度：85％以下（結露なきこと）

外形寸法
200㎜×126㎜×76.3㎜（ボタン等の突起部を除く）

7. 消耗品について

本機に使用されている紫外線ランプの寿命は約250時間（1回のチェックを5秒とすると180万回）です。紫外線ランプの交換は有償修理扱い(保証対象外)になります。また、紫外線ランプは紙幣等がスロットに入っていると点灯したままになり、寿命を大幅に縮めることになりますのでご注意ください。

注意事項

○ 紫外線は目に有害です。絶対に紫外線ランプを直視しないでください。

○ 本機は、各国紙幣の偽造防止技術で印刷された部分を確認できる機能を有しておりますが、紙幣の真偽を判定し保証するものではありません。